

## 西三河支部

西三河支部(近藤千雅支部長)は11月20日(日)・21日(月)の2日間、16名の会員が参加して福岡県北九州市にある光和精鉱(株)戸畑製造所の施設見学会を開催しました。

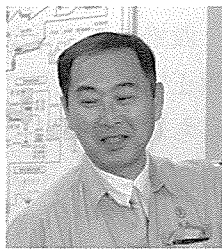
初日は博多駅からバスで太宰府・天満宮へ向かいました。観光地ということもあり境内の参道は観光客で溢れ、海外からの参拝者も多く大変な賑わいでした。小春日和のような天候の中、散策しながらゆっくり話す時間が持て、会員同士の親交を深めることができました。



太宰府・天満宮を参拝

2日目に企業訪問した光和精鉱(株)は、廃油、廃アルカリ、廃酸、汚泥、燃え殻、廃プラスチック類、鉱さいなど幅広い有害物の廃棄物処理の許可を取得し、独自に開発した「塩化揮発法」により、重金属の分離・回収等を行い完全リサイクル化・資源再利用を実現し、埋立て処分のない“クローズドシステム”を完成させた企業です。

同社では本社会議室にて営業部PCB営業東京事務所長 浅井伸彦氏から、会社の概要、処理全体のフロー、主要設備の施設について紹介映像を見ながら説明を伺いました。



会社の概要等を説明をされる浅井所長

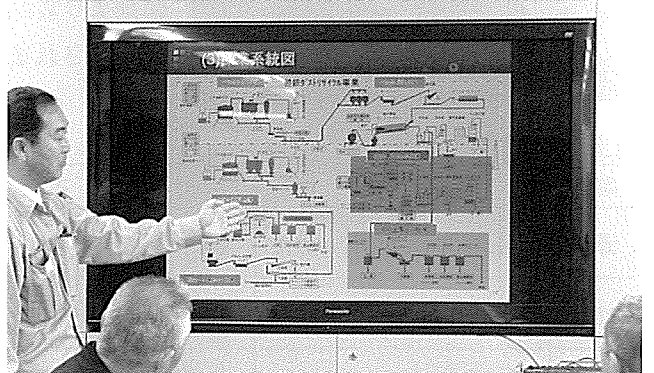
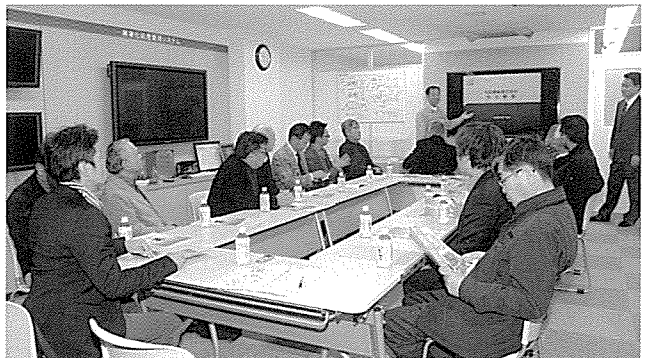
その後バスに戻り車内から順路を回る見学となりました。戸畑製造所にある流動床炉、産廃キルン、塩化揮発ロータリーキルン、産廃焼却設備、排ガス・DXNs除去塔、飛灰・土壌処理設備等を回り、要所所で浅井氏から詳細な説明を受けました。同所の構内はかなり広く設計され、地球環境保全の立場で適正処理を行う、というコンセプト通りそのスケールの大きさに見学者全員が圧倒されました。またセ

## 製鉄の心臓部で見た 完全リサイクル・資源再生利用



飛幡ビル前で浅井所長と記念撮影

キュリティ体制が厳しく、構内入り口から写真撮影、見学バスの降車は一切禁止されていました。日本屈指の産業廃棄物処理施設は、具現化された循環型社会構築を担う理想モデルとして、我々に衝撃を与えました。見学の帰路の車中では、産廃処理の技術、リサイクル化のプロセス、資源化等、今後の業界の在り方や展開について話が尽きず、有意義な施設見学会でした。



本社会議室で浅井氏より処理フロー、施設等の概要の説明を受ける。